



補習校だより

平成26年度 第39号

平成27年2月21日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

土曜日 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

学習発表会

校長 永井 晋

先週補習校で学習発表会を行いました。これは昨年度から「学芸会」から「学習発表会」と形を変えて行っているもので、今年度が2年目の行事です。この行事は1年間の学習の成果を展示か舞台あるいは両方の中から各学年が選び発表するものです。幼稚部から中3までが一度に発表をするので、バラエティーに富んだ内容です。幼稚部の「制作」で行ったお絵かきや切り絵などの作品から中3生が舞台発表した「月の起源を探る」まで見ていてもとても興味深い発表でした。昨年度は初めて行いましたので、参加形態等学年によって課題も発見できました。つまり、お子様の学年が展示発表のみで舞台発表を行わない学年だとあまり興味が持てないのです。今年度からは舞台発表を行う学年と展示発表を行う学年を固定し数年間は変えずに行う予定です。そうすると今年は舞台発表がなくても来年はあるぞということが子供も保護者もわかり意欲につながると考えました。本来は展示発表も力を入れて行うべき学習内容です。正しい日本語で分かりやすく文章や図で相手に何かを伝えるのは難しく、発達段階に応じた学習が必要です。特に日本語の環境に乏しい海外で生活する子供たちにとっては重要な学習内容です。もちろん、舞台発表も観客の前で正しい日本語を使って発表することなのでこちらもとても重要です。どちらもバランスよくできることが重要であると考えます。

さて、今年の発表ですが、展示、舞台とも工夫が凝らされており素晴らしい発表でした。幼稚部の可愛い展示、舞台発表から中学生の難しい内容のプレゼンテーションまで子供たちの一所懸命さが伝わってくる内容でした。課題に感じたのは高学年の子供たちが低学年の発表を見るのは可愛いと感じますし、聞く態度も学習できていますので良いのですが、低学年の子供たちが高学年の発表を見るのは内容を理解することが困難で興味が持てずにただ黙って我慢している時間になってしまっていました。来年度はそのあたりをどう克服するかを考えなければいけないと感じました。

